



ボランティアで 8月

「ボランティア」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。



～今できることを～ 工夫して 一歩踏み出したい！withコロナ



ゆうゆう堀ノ内松ノ木館



▲昨年12月、オンラインを活用したゆうゆう堀ノ内松ノ木館とにじのいるか保育園との地域交流を開催。



▲ゆうゆう荻窪館で活動する団体「檸檬会」の手芸の様子。

ゆうゆう館は、杉並区に住む60歳以上の方に、憩い、いきがい学び、ふれあい交流、健康づくりの場としてご利用いただく施設です。コロナの影響で一時は休館を余儀なくされましたが、今こそ、地域の活動拠点としての役目が注目されています。詳細は2面をご覧ください。

【特集】 ～今できることを～ 工夫して 一歩踏み出したい！withコロナ 「ゆうゆう堀ノ内松ノ木館」 「ゆうゆう荻窪館」

- 3 面・・・西宮中社会貢献教育講話 報告
センターからのお知らせ
- 裏面・・・令和3年7月大雨災害静岡県 義援金
読者アンケート

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。いつもご協力ありがとうございます。

【特集】

～今できることを～

工夫して 一步踏み出したい！ withコロナ

【特集】～今できることを～では、新しい生活様式の中で、一步踏み出し活動している様子をお伝えします。今回は、60歳以上を中心とした活動の場であるゆうゆう館について、「ゆうゆう堀ノ内松ノ木館」施設長の原田 考さんと「ゆうゆう荻窪館」施設長の小松 一彦さんに、コロナ禍での取り組みをうかがいました。

だれもが交流できる場所 ゆうゆう館

コロナ禍の現状

杉並区内に29館あるゆうゆう館。年間約44万人の利用者が憩い交流していましたが、コロナの影響で令和2年度は年間18万人にまで減少しました。令和2年3月1日～6月7日の休館期間を経て、マスク着用や検温、手指消毒をはじめとした感染症対策を行い再開。

ゆうゆう堀ノ内松ノ木館

施設長の原田さんにうかがいました

コロナの影響は？

コロナの前までは、いかに密になるかを考えてゆうゆう堀ノ内松ノ木館（以下、堀ノ内松ノ木館）を運営していましたが、状況が180度変わってしまいました。ボランティアの方がご飯を作ってみんなで食べる、食を通じたつながり活動や茶道の活動が全て中止となり、地域の方々の居場所が減ってしまいました。それに伴い利用者が来館を控え、フレイル（※）の進行や体力的に低下がみられる方が増えました。以前は元気に来られた方が、堀ノ内松ノ木館に来るのがやっとという話を聞き、ゆうゆう館を利用していた方へのコロナの影響を目の当たりに感じています。

※フレイル：加齢とともに心身の活力が衰えた状態。

コロナ禍の工夫は？

堀ノ内松ノ木館は、地域のケア24松ノ木や介護事業所、町会、民生委員、学校や保育園と連携し、「松ノ木ケアチーム」として様々な取り組みを行っています。その一つが、リモートツールを使って高齢者や子どもたちがつながるきっかけづくりをするものです。昨年12月には、マジシャンの松永さんを招いて、堀ノ内松ノ木館の利用者と保育園児とをリモートでつなぐ地域交流会を開催しました。

高井戸マジッククラブの松永さん



ゆうゆう堀ノ内松ノ木館

にじのいるか保育園

withコロナでできることは？

高齢者でも気軽に利用できるオンライン・インターネット環境を用意し、「スマホ・タブレット・オンラインツール入門講座」の実施を検討しています。堀ノ内松ノ木館だけではなく、松ノ木ケアチームとして地域の様々な団体や機関と協力し、多世代に関わってもらい、地域ぐるみで元気になることを目指しています。

ゆうゆう荻窪館

施設長の小松さんにうかがいました

コロナの影響は？

ゆうゆう荻窪館（以下、荻窪館）に来る楽しみは講座に参加するだけではなく、集まった人とお茶を飲んだりおやつを食べたりすることでもありました。その生活の一部が制限され、お互いにつらい想いでした。

コロナ禍の工夫は？

スマホ講座を新たにつくり、昨年10月に開催。驚くほどたくさんの応募がありました。部屋の定員を考え、いくつかの部屋に分散。ゆうゆう館だからこそ、生活に馴染んだ場所で抵抗なく来られ、ワクチン接種の予約やお孫さんとなることができました。



檸檬会の活動の様子

ケア24南荻窪が主体となって屋外を中心に活動していた「遊ぼう会」は、コロナの影響により活動を断念。しかし、交流の場の必要性を感じて、話さなくても顔を合わせることができる映画会を企画。荻窪館が今まで定期的に行っていた映画上映のノウハウを活かし、場所の協力というかたちで開催しました。様々なボランティア団体に関わり工夫をしながら、現在は3か月に1回のペースで開催を予定しています。



益子焼教室の様子

荻窪館で活発に活動している自主グループ「檸檬会」は、手芸を中心として定期的に集まり作品づくりを楽しんでいます。紙でお花を作ったり、布で実用的な袋を作ったり、益子焼教室も生きがい活動につながっています。

withコロナでできることは？

荻窪館には多くの団体や関係機関に関わり運営をしています。緊急事態宣言中でも利用者からは「ゆうゆう館を閉めないで！」「開いてよかった！」という声があり、地域の居場所としての役割や元気に過ごすための生活の一部であることを再確認しています。ゆうゆう館は高齢者が行く場所というイメージを持たれがちですが、利用者の方々はとても若々しくて元気です。感染症対策を行いながら、これからも楽しい活動をサポートします。

杉並区立西宮中学校では、社会貢献教育を積極的に行っています。

その一環として、6月25日(金)、杉並ボランティアセンターの職員が、西宮中学校3年生の授業にうかがい、「ボランティア～はじめの一步～」をテーマに講話を行いました。地域や社会へ貢献することや、ボランティア活動の意義について理解していただくことを目的として、ボランティアにはどのようなものがあるのか生徒の皆さんの意見をうかがいながら一緒に考えました。



▲講話の様子



▲生徒さんと一緒に考えます

Zoomを使うためにスマートフォンやPCの操作を教えるボランティア、オンラインを通して高齢者施設にピアノ演奏を届けるボランティアなど、コロナの影響でボランティアの方法が広がっていることも知っていただきました。

授業を受けた生徒さんからは、「オンラインも活用し、ボランティアの可能性が幅広いことを知った」「自分にもできそう!チャレンジしたい」「ボランティアは、やらされるのではなく、自ら楽しんでやることだと感じた」といった感想をいただきました。

杉並ボランティアセンターは、皆さんが社会貢献活動に一步踏み出すサポートをしています。興味のある方はぜひご相談ください。

杉並区内の学校や企業、団体の方々からのお問合せもお待ちしています。

募集中

夏のボランティア体験 作品続々と!

「夏のボランティア体験2021」が絶賛受付中です!
お住まいの地域や年齢問わず、どなたでも参加できる「**お手紙ボランティア**」や「**高齢者施設へ贈る飾りを作ろう**」では、続々と作品がセンターに届けられています。皆さまのあたたかいお気持ちありがとうございます!!

受付は8月31日まで。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。詳しくは杉並ボランティアセンターのホームページをご覧ください。

高齢者施設へ贈る
折り紙作品
一部紹介



▲あじさい



▲ひまわり



▲ランドセル



▲もみじ・くり・どんぐり

★杉並・グルメ・さんぽ★

しもたか希望の家ibuki (下高井戸1-28-11)
TEL: 03-5374-1151 FAX: 03-5374-1150
<http://kibounoie-ibuki.net/>



ベーグルも
テイクアウトできます!

アヒージョセット 400円

お問合せ

杉並ボランティアセンター
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

令和3年7月大雨災害静岡県 義援金

令和3年7月1日からの大雨で熱海市伊豆山地区で起きた大規模な土砂流災害により、静岡県内各地において甚大な被害が発生しました。この災害により亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

杉並区社会福祉協議会では被災された皆さまを支援するため、義援金の募金箱を設置いたしました。皆さまのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

募金箱設置期間

令和3年7月16日から
令和3年9月30日まで

設置場所

杉並区社会福祉協議会窓口
(ウェルファーム杉並2階・4階)

お寄せいただいた義援金は静岡県共同募金会へ送金し、義援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆さまにお届けいたします。また、静岡県共同募金会や熱海市、日本赤十字社への直接送金の受付も始まっております。下記サイトに送金先、その他義援金・支援金情報がありますので、ご参照ください。

○東京ボランティア・市民活動センター

<https://www.tvac.or.jp/news/50649>



お問合せ

社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
経営管理課 連携推進係 TEL:03-5347-1010

夏休みを

子ども食堂で!

現在、子ども食堂では、感染症対策をしながら、お弁当配布や食材配布を行っています。

学校が夏休みの期間は、回数を増やして開催している食堂もあります。利用してみたい方、興味のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

お問合せ

杉並子ども食堂ネットワーク事務局

(社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
地域支援課 地域福祉推進係)

TEL: 03-5347-1017

FAX: 03-5347-2063

✉: sugi-kodomo@sugisyakyo.com

「ボラン・て」読者のみなさまへ

あなたの声をお聴かせください/ 読者アンケートにご協力をお願いします

杉並ボランティアセンターの情報紙をご覧ください、ありがとうございます。

「ボラン・て」は、日々の活動に役立つ情報提供や、皆さんがつながるきっかけづくりをめざしています。

「ボラン・て」を手にとってくださるあなたの声をより一層活かして、紙面をつくってまいります。ぜひ読者アンケートにご協力ください。

右記QRコードからご回答ください。また、アンケート用紙(中面折り込み)にご記入いただき、FAXや郵送でも受付けております。

ご不明な点は、ボランティアセンターのメールアドレス info@borasen.jp へ。みなさまのお声をお待ちしています。

9月10日
締切

記事の感想

学校、職場、地域などで
取り組まれていること

掲載してほしい テーマ

右記QRコードから
アンケートフォームへ
ご回答をお願いします

<https://bit.ly/3xYaDrk>



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階

TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: info@borasen.jp ホームページ: <http://borasen.jp>

うえるくん

杉並社協のイメージキャラクター

開所時間: 火～土曜日

8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内JR、地下鉄丸の内線など)・他